

埼玉県の加須市教育委員会学校教育課 指導担当 秋山 天 指導主事 及び 学務担当 澁谷 裕貴 指導主事から、MEXCBTを活用した学力調査についてお話を伺いました。

加須市では令和5年度から埼玉県学力・学習状況調査がCBT※1化することを見据え、これまで実施していた「加須市チャレンジテスト」をMEXCBTでの実施に切り替えました。県の学力・学習状況調査の結果と関連付け、より効果的に児童生徒の学力向上を図りたいと考えておられます。

1. MEXCBTを使用し、学力調査を実施しようとした経緯について

【児童生徒の学力向上と、教員の働き方改革の両立を図る】

- ・埼玉県学力・学習状況調査の結果分析から、各校で計画した学力向上に向けた取組の成果を検証する機会を年内に設定し、取組のブラッシュアップを図る。
- ・令和5年度以降の埼玉県学力・学習状況調査、及び令和6年度以降の全国学力・学習状況調査のCBT化を見据え、タブレットを活用した問題演習に取り組む。
- ・MEXCBTのもつ「自動採点」の良さを活用することで、採点業務等、教職員の負担軽減を図るとともに、いち早く結果を各校へフィードバックする。

2. 「加須市チャレンジテスト」実施に向けたスケジュール及び取組について

【令和4年10月】○校長・園長研究協議会において、「加須市チャレンジテスト」のCBTによる実施を周知

○埼玉県学力・学習状況調査の分析→本市としての課題となる問題傾向の把握

【令和4年11月】○校長・園長研究協議会において、「加須市チャレンジテスト」の概要を周知

○「加須市チャレンジテスト」「加須市チャレンジプレテスト」「加須市チャレンジシート」の問題精選、作成

【令和4年12月】○校長・園長研究協議会において、各取組の日程や詳細を説明、周知

○「加須市チャレンジシート」「加須市チャレンジプレテスト」を配信開始

【令和5年 1月】○「加須市チャレンジテスト」の実施

※チャレンジプレテスト：問題の配信及び解答に慣れるための簡易テスト

【令和5年 2月】○「加須市チャレンジテスト」結果を各校へフィードバック

※チャレンジシート：演習用に作成した学年別、教科別問題集

3. 「加須市チャレンジテスト」の概要について

【実施学年】 小学校3年生～中学校2年生

【実施教科】 国語、算数・数学、英語（中学校のみ）、児童／生徒質問紙（埼玉県学力・学習状況調査の内容に準ずるもの）

【出題傾向】 埼玉県学力・学習状況調査の結果分析から、本市の課題もしくは、今後課題となるであろう分野や問題を厳選

【実施時間】 教科問題：各30分 各質問紙：10分

4. 「加須市チャレンジテスト」でMEXCBTを活用した効果と今後の課題について

【効果】 ・各校における負担を軽減しながら、市内統一のテストを実施し、各校が自校の現状を把握することができた。

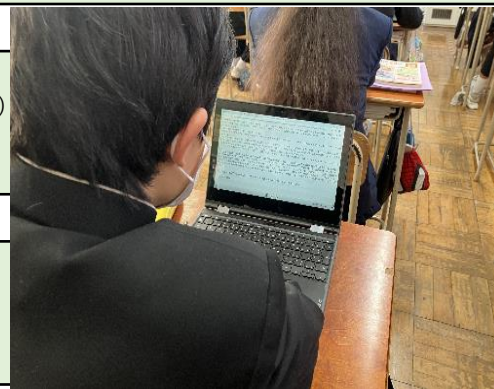
・市として配信問題に取り組む機会を設定したことで、各校におけるMEXCBTの使用機会が増加した。

【課題】 ・各校の教科主任等で構成する問題作成委員会等を立ち上げ、問題の質的向上を図る。

・学力向上に向けたPDCAサイクルを確立するため、埼玉県学力・学習状況調査との関連付けをさらに深める。

5. 今後の展望、文科省へのご要望等※2 ございましたら教えてください。

- ・自動採点のシステムの質的向上（・算数や数学において、スペースの有無で誤答と判断されてしまうこと。
・記述問題において、設定した解答例と1字1句同じでないと正解とならないこと。）
- ・提供されるテスト結果の質的向上（・各生徒の各設問に対する正誤の他、各設問ごとの正答率やグラフなどの結果分布が自動生成されると活用の幅が広がる。
・状況に応じて必要のない情報（回答時間やIDなど）を、予め非表示にして提供されること。）
- ・操作性のさらなる向上（配信や結果確認の簡易化 → 多くの教職員にとって、触れやすいシステムへの発展）



※1 CBT=Computer Based Testing とは、コンピュータを使用した調査のことです。

※2 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。